

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年12月19日

事業所名 POCCO音の泉こうふ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	0	配置基準は必ず満たしている。	マンツーマン対応の必要なお子さんが多数いる場合、支援員の不足を感じることもある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	支援に必要な道具は分かりやすく整理している。療育室は動きやすく整理し、バリアフリー化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	感染対策を含めて日々、清掃・消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	気づいたことはその場で共有できるような雰囲気にも努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	毎年実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	毎年実施している。HPで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	わからない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	ほぼ毎月、心理士による社内研修が開かれている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	アセスメントシートやSM社会能力検査等の活用。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	SM社会生活応力検査を全児童に実施し、領域ごとの生活年齢を把握し支援計画に盛り込み作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	個々に必要な支援を丁寧に行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	流れは変えないが、プログラム内容を季節等も考えながら毎月考えている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	毎月内容を考え、工夫している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	基本的には集団活動だが、必要に応じて個別に対応している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	平日には午前のミーティングの際に打ち合わせている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	支援終了後のミーティングは設定していないが、必要なことはすぐに情報共有ができるように努めている	支援後の振り返りの時間を固定していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	毎日のケース記録を徹底、モニタリングや会議の際には活用し、保護者との情報共有のツールともなっている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	半年ごとモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	基本的に児発管が出席している。	日ごろから全員がこどもの状況をしっかりと把握でき、会議にも参加出来る様な体制を整えていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4	該当者なし	そのような児童の利用がある際には、連携した支援に努めていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4	該当者なし。 かかりつけ医等の医療機関の情報記入はしていただいている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	移行会議への参加をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	そのような機会がある際には積極的に参加している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		社内研修が多いが、社外研修も積極的に参加していきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	甲府市通所事業所連絡会へ理事として参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	ケース記録の共有や、送迎時を通じてコミュニケーションをとるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	4		家族支援、というところまでは出来ていない。事業所としてその力もつけていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	入会時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	個別支援計画の説明を保護者の方に行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	相談があった際には、迅速に対応できるよう心掛けている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		過去に計画されたがコロナ等で未実施。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	本部とも連携しながら、迅速な対応を心掛けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	公式LINEやインスタなどSNSを活用して情報発信を積極的に行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	個別対応が必要なご家庭には必要な配慮ができるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		地域住民をくくめたイベントは開催できていない。今後コロナの状況もみながら、企画していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	作成され、実施している。	周知が十分では無いかもしれない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	スタッフ全員と情報共有を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	アレルギーがあるお子さんは指示書の提出をお願いしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	事業所だけでなく、月一回の全体会議の際には他事業所の事例もあげ、共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	年1回行われている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	必要があると思われる児童には記載をしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。